

「地域とともにある学校」を目指す

睦沢町教育委員会

1 はじめに

睦沢町は、チーバくんの体に例えると、腰の辺りに位置し、首都圏から70km圏内にある。海からは9kmの距離にあり、町を横断するように埴生川、瑞沢川、長楽寺川が流れ、その沿岸地域は肥沃な穀倉地帯。田園風景が広がる穏やかな町である。

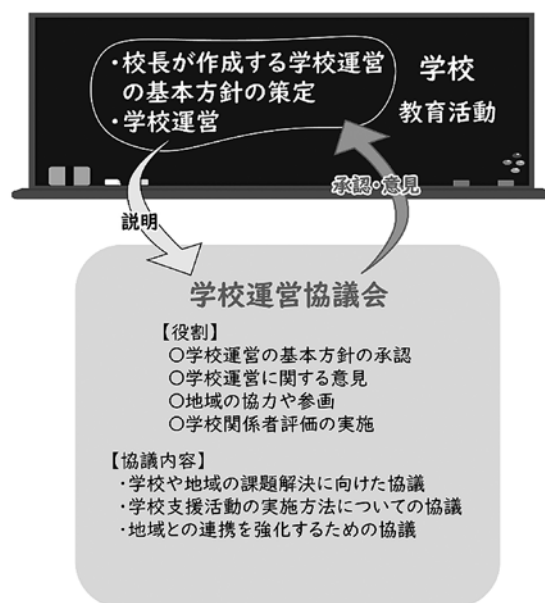
2 コミュニティ・スクール導入

睦沢町の小学校は、2018年3月に土睦小学校と瑞沢小学校が閉校し、4月に2校が統合して睦沢小学校が開校した。よって、町内の小学校は1校となった。

二つの小学校は地域と密接につながっており、運動会をはじめとする学校行事や地域と連携した授業などが日常的に行われていた。地域もそうした学校との関わりを通じて一つにまとまり、地域ぐるみで子供たちを育てようとする風土が根付いていたことなどから、新しい小学校には、コミュニティ・スクールを導入しやすい土壌があった。

そこで、再編する睦沢小学校ではこれまでの地域の良さを引き継ぎ、新たなコミュニティとして、両小学校それぞれに合った「地域ぐるみで子育てを」という考え方のもと、町を挙げて学校と地域住民・保護者が力を合わせて学校運営に取り組む「地域とともにある学校」を目指すこととし、併せて学校運営協議会を設置することとした。

2020年には、睦沢町園・小・中一貫教育校をスタートし、睦沢町学校運営協議会を中学



校まで拡充した。

3 学校運営協議会制度

教育委員会から任命された保護者・地域の委員は、一定の権限と責任の下、学校運営の基本方針の承認や教育活動、将来の地域を担う子供の育成について、その他校長が必要と認める事項について、互いの意見を尊重し合い、年4回「熟慮」「論議」を重ねている。

小中学校からは、教育課題を示し、保護者・地域へ協力依頼をすることもある。例を挙げると、小学校では児童のコミュニケーションの育成を目指して、地域を巻き込んだ「あいさつ運動」を要請した。中学校では、廊下の壁の劣化が進み、生徒のための学校環境を整えるために、地域の方に修繕の協力を要請した。結果、多くの方の支援をいただき、教育環境の改善につながっている。また、その成

果を学校便りやホームページを通じて、保護者や地域へ発信することで相乗効果が図られている。

4 地域とともに歩む主な活動

(1)地域の力を活かして

睦沢町では、学校支援ボランティア180名が各隊に登録し活動している。

<各隊の活動内容>

- まなび隊…授業の補助や読み聞かせなど
- 行事隊……稲作体験や運動会など学校行事
- 安全隊……登下校の見守りや校外学習の引率など
- 環境隊……草刈りや図書室の整理など

<2020・2021年度の主な活動>

- | | |
|----------------------|-----|
| ○鮭の学習（2020新聞掲載） | 睦沢小 |
| ○鮭の稚魚の放流（2020新聞掲載） | 睦沢小 |
| ○稲作体験（2020・2021新聞掲載） | 睦沢小 |
| ○廊下壁の修繕（2020新聞掲載） | 睦沢中 |
| ○ワクチン接種手助け（2021新聞掲載） | 睦沢中 |

コミュニティ・スクールを導入して、4年目となるが、地域の方々との触れ合いにより、子供たちは自己肯定感が高まり、徐々に地域と学校の一体感が生まれ始めている。

(2)生徒から地域へ感謝を込めて

地域の方々からの日常的な登下校の見守りや、様々な教育活動の中での協力は数知れない。子供たちも感謝の気持ちが高まっていた。

そのような中、町では令和3年5月に、新型コロナワクチン接種をスムーズに行うため、パソコンやスマホの操作が苦手な高齢者の予約の手助けを中学生に募集したところ、19名の生徒が手を挙げた。

5月29日、生徒は予約の空き状況を検索し、町職員に伝える役割を担った。予約も一部担当し、約300人の予約を済ませた。世代を超えた助け合いは、参加中学生の貴重な人生経験になるだけでなく、学校と地域の絆が中学生の手によって深められた。

5 一貫教育校

「地域の力を活かした学校」に加え、0歳から15歳までの系統的で連続した一貫教育を進め、義務教育が終わる15歳の春に自ら一步を歩み出し、未来を切り拓いていける豊かな「人間力」と「社会力」を身に付けた子供たちの育成を目指している。

今年度の研究は、

- ①教科部会（授業研究を通した園・小・中一貫カリキュラムの改善と補充）

国語 外国語・英語 総合的な学習の時間
園・小接続カリキュラム

- ②特別支援教育部会（園・小・中の連携と実践）

- ③健康教育部会（園・小・中の連携と実践）

の各部会に職員が所属し、今年度は年間約20回の授業研究と協議会を行う。その他、全体研修会を4月・8月・1月に開催し、研究の方向性・経過・まとめの報告を行っている。

その結果、0歳から15歳の子供を園・小・中学校の職員全員で育成することにより、情報共有を十分に行うことで、小1プロブレムや中1ギャップの克服にもつながっている。

6 おわりに

睦沢町は、自然豊かで田園地帯が広がる6,900人余りの小さな町。PR動画では「なにもないけど、ちょうどいい」をキャッチフレーズにしている。大きなビルはないけど、人間味溢れる地域の方々に支えられ、新しい教育を進めている。

その成果を令和4年（2022年）の秋に、睦沢小学校・睦沢中学校を会場として、一貫教育の研究の成果を自主公開する予定である。ぜひ、県内の教育関係者に参観していただき、御指導を仰ぎたい。